

港区

港区では、平成28年4月に全国連携の専管組織を設置し、特別区全国連携プロジェクトとともに、区と全国各地域が様々な分野において積極的に手を携え、共存・共栄を図る全国連携の取組を積極的に推進しています。

都心区の強みである集客力や情報発信力を生かした物産展など、区や自治体が主体となって実施する取組のほか、区内事業者と全国各地域をつなぎ、ワーケーションを促進する取組など、ヒトやモノを結びつける取組を通じて、各地域の活性化につながる様々な機会を創出しています。

引き続き、自治体間だけでなく、民間団体が持つ知識やノウハウ等の強みを最大限活用するとともに、その時々自治体ニーズや社会のトレンドを捉えながら、多様な主体との連携による、一過性ではない、港区ならではの継続性、拡張性ある取組を推進し、区の課題解決と全国各地域の支援につなげていきます。

区内事業者と連携自治体のビジネスマッチングと継続的な連携・交流を図ることを目的に、全国で初となる自治体連携によるワーケーションの促進事業を令和5年度から実施しています。本事業では、区が、区の連携自治体が提案するワーケーションプログラムに参加する事業者を募集し、参加者に対して宿泊等に要する経費の一部を補助しています。



酒蔵見学(伊予市)



地域との意見交換(喜多方市)



令和5年度 港区連携自治体ワーケーション促進事業 参加自治体

北海道利尻富士町、山形県(南陽市、高畠町、小国町)、福島県(いわき市、喜多方市)、福井県大野市、長野県(小諸市、中野市)、東京都新島村、奈良県下北山村、鳥取県・岡山県、岡山県瀬戸内市、愛媛県(伊予市、内子町)